_{|高} みへでいろ vol.29



令和4年7月29日発行 県立沖永良部高等学校

生徒の皆さんへ

今週半ばから,夏季休業に入り,今年の夏は猛暑が続く天候だろうとの予報も 出ています。是非とも,熱中症には十分気をつけて,二度とない貴重な高校生の 夏をムダにせず過ごして下さい。そして,いろいろな事故やトラブルに巻き込ま れることなく,二学期に全員揃って元気な姿を見せてくれることを願っています。

「命の値段」はいくら

現在、新型コロナウイルス感染症による世界での死者数は、640万人近くと言われ、国内での死者数も既に3万人を超えている。これほど尊い人命が数多く奪われても、依然として、感染症の出口はまだまだ見えない。ましてや、そんな尊い人命に値段をつけるような事態があってはならないはずである。

しかし、現実的には結果を踏まえて間接的に人命にも値段をつける手法があるそうだ。社会が人命にどの程度の重きを置くかは、経済活動を通して推計され、人命は「統計的生命価値」と呼ばれる金額に置き換えられるそうである。とても分かりにくいので簡単な例で説明したい。住宅火災で死亡する確率は10万分の1ほどである。そこで、それを防ぐための火災報知器の設置に人々が年間1千円の負担をいとわないとしよう。すると、統計的に一人の命を救うためのコストは1千円×10万=1億円ということになる。しかし、人々が年間5千円は払えないというのなら、一人の命のために5億円は高すぎると間接的に判断したといえる。したがって、手法やデータによって推計結果は異なるが、先進諸国における一人の命の統計的価値は概ね数億円相当だそうだ。

多くの犠牲者が出ているコロナ禍では、人命のために経済活動が抑えられ、苦しまれた方も多かったはずだ。協力金の規模からも、緊急事態宣言などによって少なくとも数億円規模の経済損失が発生したといえる。ただ、その代わりに多くの人命が救えたのならば、正しい判断だったのかもしれない。しかし、現在においても、人命優先か経済優先かという苦渋の悩みを抱えたままである。

一方,国内では毎日のようにコロナ新規感染者数や死者数は報道されているが その陰で年間で2万人の方が自ら命を絶っている事実はあまり知られていない。 若者の死因の第1位は、コロナではなく自殺である。コロナ対策でみせた政治的

判断によって、もっと自殺者対策にも力を入れれば、より若い人たちを救えたかもしれない。やはり、若者が希望を持って生きていける世の中こそ、目指すべき社会の姿といえ、今後、本校でも「命を大切にする教育」に力を入れていきたい。それにしても、過去、「人の命は地球よりも重い」と述べた首相が日本にはいたが、そう簡単には、命の値段はつけられそうにない。



集中カアップの秘訣②

自宅学習は「分割勉強法」を基本に

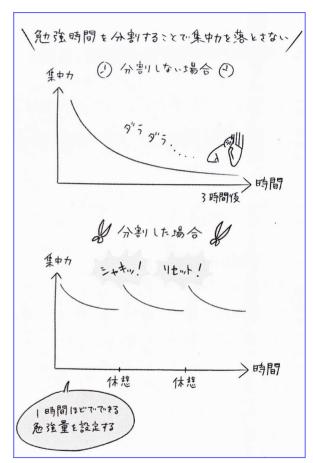
自宅での勉強に集中できないと悩んでいる人に、まずは試してほしい方法です。 集中カアップの秘けつとして、私がオススメするのは、一気に長い時間ぶっ続け で勉強しようとせずに、間に休憩を入れるなどして時間を分け、それぞれの時間 ごとに目標を細かく決めていく「分割勉強法」です。

まず、勉強は時間ではなく、勉強量を目安にするのがいいと言われています。 生徒のなかには、目標を決めて「この1時間でどれだけ進めるか」とゲーム感覚 で挑戦すると集中力が増す人もいます。そこは、自分の集中力と相談して、無理 のない範囲で時間設定をしてください。そして、当然ながら、集中できる時間は

その日のコンディションにもよります。 もちろん、疲れているときや落ち込んでいるときなどは、短い時間でも「次はこれをやり切る!」と少しずつ時間を分けて勉強してみてください。

次に、なかなか自分の勉強量が分からないという人は、1時間をひと区切りとして考えてみましょう。1時間ほど勉強時間が取れそうなら、たとえば「この数学のワークを4ページくらい進めのアークを4ページでものでものでものでも、かり切ってものでも、だんだんと自分が1時間である量がわかってくるものです。

人間は, ゴールが先に行けば行くほど 集中力が途切れてくるので, あまり遠く を目指さずに, 勉強時間を分割すること



で、集中力を落とさないようにする工夫が必要です。是非とも、これらを参考に にして、夏休みの学習に取り組んでみてください。

保護者の皆様へ

島内における感染状況も落ち着くところを知らず、県内においても新規感染者数は増える傾向にあり、いつまで経ってもコロナ禍における心配事が絶えません。幸いながら校内における感染等は確認されておらず、無事に1学期を終えました。しかしながら、今後も感染リスクが軽減されないため、夏休みに引き続いて、2学期も感染症対策にくわえて熱中症対策もあわせて実施して参ります。御家庭におかれましても、できる限りの感染症対策と熱中症対策をお願い申し上げます。